

平成28年度の重点課題

〇男子

→「50m走」において、2学年が県平均かつ全国平均を下回っている。

〇女子

→「握力」において、1、3学年が県平均を下回っている。

→「ハンドボール投」において、全学年、県平均かつ全国平均を下回っている。

→「立ち幅跳び」において、1学年女子が県平均かつ全国平均を下回っている。

→「反復横とび」において、3学年女子が県平均かつ全国平均を下回っている。

→「20mシャトルラン」において、2学年女子が県平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

〇保健体育科の授業

・女子は、単元「ティーボール」「バレーボール」「バスケットボール」で投運動の基本動作を習得させ、反復練習させるなかで、同時に握力をつける。

・男子は、各単元の授業導入時、30秒ダッシュ、競歩ダッシュ、大股走、スキップ走を取り入れ、瞬発力やスピードに関する体力要素を引き続き高める。

〇新体力テストの結果を全教職員に周知し、成果と課題を共通認識する。また、部活動において、部独自に体力強化に取り組む。特に、文化系の部に運動を定期的に組み込み習慣化させる。

〇新体力テストの結果を保護者に知らせ、運動習慣の意義を啓発していく。

〇委員会活動を活用し、保健委員会主導による健康増進運動期間を設けるなど、運動習慣を身につけるよう取り組む。

〇長期休業中に体力づくりに向けた各自の取り組みを課題として行い、分析、課題の再設定、取組を行う。

〇各学年男女別で県平均、全国平均を下回った種目については、再度測定を行う。

平成29年度新体力テストの結果（県平均値（平成28年度）・全国平均値（平成27年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	26.79	27.79	42.27	53.68	82.03		8.18	189.50	18.14	40.38	第1学年	23.59	26.82	48.82	48.85	61.62		8.93	171.59	11.97	51.79
第2学年	30.57	31.57	46.75	59.18	90.36		7.78	200.29	22.50	48.11	第2学年	23.39	27.72	48.78	51.58	63.14		8.85	180.03	13.69	54.83
第3学年	35.32	32.64	52.23	60.34	98.50		7.53	208.55	25.07	53.82	第3学年	26.28	27.94	52.94	50.13	64.19		8.54	181.78	14.31	58.10

県平均値かつ全国平均値未満

平成29年度新体力テストの結果（県平均値（平成29年度）・全国平均値（平成28年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	26.79	27.79	42.27	53.68	82.03		8.18	189.50	18.14	40.38	第1学年	23.59	26.82	48.82	48.85	61.62		8.93	171.59	11.97	51.79
第2学年	30.57	31.57	46.75	59.18	90.36		7.78	200.29	22.50	48.11	第2学年	23.39	27.72	48.78	51.58	63.14		8.85	180.03	13.69	54.83
第3学年	35.32	32.64	52.23	60.34	98.50		7.53	208.55	25.07	53.82	第3学年	26.28	27.94	52.94	50.13	64.19		8.54	181.78	14.31	58.10

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

〇男子

→「20mシャトルラン」において、2、3年生は全国平均を下回っている。
2年 83.11(1年時)⇒90.36 3年 93.26(2年時)⇒98.50
県、全国と比較し伸び率が低い。

〇女子

→「ハンドボール投」において、1、3年生は県、全国平均を下回っており、2年生は、県平均を下回っている。
2年 11.68(1年時)⇒13.69 3年 12.09(1年時)⇒14.31
県、全国と比較し伸び率は高い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

〇保健体育科の授業

・女子は、球技の単元で、引き続き投運動の基本動作の習得に努めさせる。

・男子は、各単元のアップ時、ランニングを中心に心拍数120以上となるよう運動を仕組む。

〇委員会活動を活用し、保健委員会主導による健康増進運動や縄跳びの奨励を行う。

〇長期休業中、自己の体力課題を考慮した取組を作らせ実践させる。

〇県平均、全国平均を下回った種目については、再度計測を行う。

平成30年度の目標値

〇男子 「20mシャトルラン」において、全国かつ県平均を各学年上回る。

〇女子 ハンドボール投の各学年平均記録を2mアップする。

〇体力合計DE判定率を5%以下に、AB判定率を70%以上にする。